

【議事録】		作成
令和6年度 第4回 こども部会		松永
日時	令和6年12月18日（水）10:00-	
場所	広陵町総合保健福祉会館（さわやかホール）	
出席者	江口・家村（葛城こ若）、渡邊（葛城市）、粕谷（高田社協）、吉田・小野（しえ～く）、大竹（もちつむたれつ）、秋本（ふわら）、辻（高田市）、谷本（葛城育成会）、青木（生活支援センターブリッジ）、江口（葛城社協）、大野（大淀養護）、村上（西和養護）、河内・西崎（どんぐり）、川股（香芝市）、林・小細（愛の集い）、岸本・松永（広陵町）	
		順不同・敬称略
次第	内容	
会長あいさつ	第4回こども部会の次第について説明。	
研修	<p>*鳴門市自立支援協議会視察説明 (会長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援部会での主な活動内容について 令和4年度より福祉と教育の連携をテーマに活動を行っている。令和4年には教育機関に対し、事業所との関わりや困りごと、事業所がどんなところか知っているか、などのアンケートを実施。アンケート実施以降、毎年事業所についての説明会を行っている。事業所職員に対してはスキルアップ研修や職員交流会を実施するなど、多くの機関を対象とした活動を行っている。また、鳴門市内の通所事業所の特性や職員の職種などをまとめた「事業所ガイドブック」を作成した。 ・他機関とのつながりについて 教育、医療、福祉にはすみわけがあり、それぞれのことをしていく必要があると思い、教育機関に対する事業所説明会を実施し、顔の見える機会を作った。結果として基幹センターにも学校から連絡が入るようになった。 <p>(大竹氏より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会では行政は支える側、事業所が主となりいきいきと活動している様子が印象的であり、市単独で部会を開いているので、物事の決定が早急である点が魅力的に感じた。 <p>(青木氏より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳴門市の協議会では当事者の発信を大切にしている。「何故支援を行うのか」「支援を行うにあたり地域にどのような資源があるのか」といった点が可視化されており、対話を重視した支援を行っていることから視察の対象地域とした。 ・本協議会でも、他部会と連携してなにか取り組みを行いたい。 <p>*樫原市事業所合同説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月22日に明日香村役場、明日香村中央公民館において開催された。17事業所が説明ブースを出展し、樫原市、高取町、明日香村の全通所事業所のパンフレットを設置した。樫原市は教育委員会に協力を依頼し、学校メールから保護者に参加を呼びかけた。 ・次年度、本部会でも児童発達支援の事業所説明会の開催を検討したい。 <p>*第2回、第3回研修振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研修の概要を振り返り、参加者が感想を発表。 	
会長あいさつ	・次回開催日時の案内	
次回	R7年2月12日（水）10:00- さわやかホール	